

催し物のご案内

企画展「かながわ発 きこの新種展」

開催期間／2021年2月20日(土)※～5月9日(日) 9:00～16:30(入館は16:00まで)

※現在、臨時休館中のため、非常事態宣言解除後に予定している再開館と同時の開催になります。

通常休館日：3月8日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

4月5日(月)・12日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・5月6日(木)

観覧料金／無料(常設展は別料金)

きのこをはじめとする菌類には、身近なところにも「未知種」がまだたくさん存在します。

本企画展では、神奈川県産のものを中心に、近年新種として発表されたきのこの貴重な標本を多数展示します。ほぼすべての標本が、今回初公開！また、図鑑にほとんど掲載されていない、「幻のきのこ」も多く含まれています。さらに、新種の発表に至るまでの知られざる博物館活動の裏側や、アマチュア研究者の貢献についてもご紹介します。



当館の感染症拡大防止対策と、今後の博物館活動について

当館は、新型コロナウイルス感染症などの拡大防止のため、臨時休館となっている場合があります。最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式Twitterでお知らせしますので、ご来館の際は必ずご確認ください。

休館中も電話やメールによるレファレンスや問合せに対応していますが、在宅勤務などの影響により担当職員が不在の場合やお返事が遅れることがあります。

再開館後は、引き続き来館者の皆さまの安全確保に努めるため、感染症拡大予防対策を実施のうえで活動いたします。講座・イベントについても感染状況により中止や定員の見直しが生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。各種の制限により、ご不便をお掛けすることになりますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



ライブラリー通信 検証キノコ新図鑑

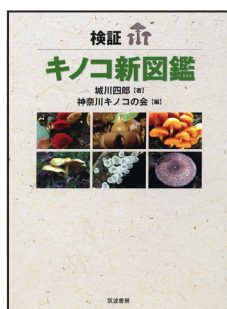
こばやし みずほ
小林 瑞穂 (司書)

今回は2020年度企画展「かながわ発 きこの新種展」に関連して、当館とも関わりの深い神奈川県キノコの会が出版した本をご紹介します。

『検証キノコ新図鑑』は著者の城川四郎氏が、神奈川県キノコの会会報『くさびら』の「今シーズン印象に残ったキノコたち」のコーナーで取り上げた種類を中心にまとめた図鑑です。

比較的身近に見られるキノコなのに、どこの図鑑にも紹介がなく、正式な名前がつけられていない、そんなキノコがたくさん紹介されています。ちょっと珍しい点としては、顕微鏡写真が載っており、顕微鏡で観察した際の特徴についても言及されていることが挙げられるでしょうか。肉眼では見分けがつかないようなキノコも、顕微鏡で観察することで、胞子の形状など、細かい部分で違いが見えるようです。

掲載数は全221種と、決して多くはないですが、一般的なキノコ図鑑ではカバーしきれなかった部分を補うようなかたちで、他の図鑑と併せてこの図鑑を使用すると便利ではないでしょうか。



筑波書房 2017年

最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式Twitterでご確認ください。

[公式ウェブサイト]
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

[公式Twitter] @seimeinohoshiPR
[混雑情報Twitter] @seimeinohoshiCI

[問合せ先] 企画情報部 企画普及課
TEL: 0465-21-1515

自然科学のとびら
第27巻1号(通巻102号)
2021年3月15日発行
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 平田大二
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846
編集 本杉 弥生(企画普及課)
印刷 株式会社あしがら印刷

© 2021 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.